

施策評価シート（評価対象年度：令和5年度）

基本政策	5	自治・協働
主要施策名	25	広報・広聴
5年後の まちの姿	○日常的に市民の間で様々なまちの情報が共有され、相互の情報交流が行われています。	
施策展開の 基本的な考え方	行政は、市民が行政を身近に感じられるよう、市政情報を分かりやすく伝えとともに、市民が市政情報を入手しやすく、市政に対して意見や要望を伝えやすい環境を整備します。 市民等は、市政に対して関心を持ち、積極的に市政情報を入手し、自らの声を行政に伝えるよう努めます。	
実現に向けた 取組	①接点の拡大と分かりやすい情報の提供 ②コミュニケーション型（対話型）行政の推進 ③市外に向けた市勢情報の発信	
施策担当課	総合政策課	
施策関係課・係	商工観光課 商工振興係	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	11,508	11,888			
事務事業数	3	3			
うち、事務事業評価対象	2	2			

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度 最終目標
胎内市公式ウェブサイトのアクセス数〔年間〕	千 セッション	607	625	527				607
市政に対する意見・要望（市長への手紙、市報アンケート、ホームページの各課問い合わせ）の受付数〔年間〕	件	548	548	650				600
主要な計画の策定や見直しに当たりパブリックコメントを実施した割合	%	100	100	100				100

成果指標による 現状分析	胎内市公式ウェブサイトのアクセス数〔年間〕については、ホームページ閲覧数・アクセス数は令和4年度に比べ数値が下がっている。令和4年度は災害があったため、一時的なアクセスが多かったと思われる。令和5年度については、災害はなく、アクセス数は下がっているが概ね達成している。 市政に対する意見・要望（市長への手紙、市報アンケート、ホームページの各課問合せ）の受付数〔年間〕については、件数が増えていることから、市民とのコミュニケーションツールとして役立っているものと思われる。ただし、意見・要望が多いことが成果として表れているとは言えない。今後も意見・要望の受付についての周知を続けていく。 主要な計画の策定や見直しに当たりパブリックコメントを実施した割合については、「第2次 いのちを支える胎内市自殺対策計画」など5件の計画策定でパブリックコメントを実施した。
-----------------	--

3 施策の進捗状況

達成度	○概ね順調
評価の理由	◆公式LINEを開始し、市民へ情報を配信。施策の進捗は順調である。

4 取組の状況と今後の方向性

① 接点の拡大と分かりやすい情報の提供

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・市政情報の提供媒体として活用が求められている市報たいないの更なる充実を図ります。 ・情報を必要とする人が、欲しい時に必要な情報を得られるよう、ホームページの更なる充実等を図り、SNSでの情報発信も積極的に行います。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ◆市報たいないのリニューアルを令和4年度から検討した。表紙の写真のレイアウトや、風車をモチーフにしたロゴを作成し、紙面を4段から3段にするなどの読みやすさ重視のレイアウトに変更し、令和5年4月1日号よりリニューアルした。 ◆ホームページ巡回確認を継続している。令和5年度は75件。◆令和5年9月より公式LINEの運用を開始した。イベント情報等を発信しているほか、ホームページ等へ遷移が可能となっている。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ◆特集記事の掲載を継続する。特集の内容の選定方法等検討する。◆現状の発行回数については、年代により減らしても良い、デジタル化に伴い紙面でなくても良いとの意見もあり、適切な発行回数については、継続した課題とする。 ◆ホームページの作成、更新は各課が行っているため、掲載内容等はチェックできていない。内容等に不備がないか各課へ周知していく。◆公式LINEの登録者数が少ないため、登録者数増加の取組を検討する。

② コミュニケーション型（対話型）行政の推進

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題解決に向けて、市民の多様な意見を施策の検討や改善に反映するため、パブリックコメントの実施、公募委員の参画やワークショップの開催等を更に進めるとともに、座談会や要望相談等行政に建設的な意見や要望を提出する機会を増やします。 ・市民の意見や要望を適切に市政に反映するよう努めるとともに、寄せられた意見や要望の対応状況を公開する新たな仕組み等の導入を検討します。 ・市政への理解の促進と胎内市のファンの拡大を目指して、アカウントの整理や活用の拡大をはじめとするSNSの運用の改善を行い、市民と行政の情報交流を促進します。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ◆パブリックコメントについては、令和4年度に1件、令和5年度に5件実施した。◆まちづくり協働座談会を、令和4年度に4回、令和5年度に5回実施したほか、市民や市民団体・企業との懇談会・会合についても市長が出席し意見交換等を行った。（令和4年度27件、令和5年度37件） ◆市報モニターからのアンケート結果を職員に共有した。市長への手紙や市報アンケートで寄せられた意見・要望は、担当課に展開し共有を行った。 ◆SNSでの発信は、Facebook（13）、Instagram（8）、X（3）、YouTube（3）で行っている。令和5年度から公式LINE（1）を開始した。（）内はアカウント数
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ◆公募委員、パブリックコメント、ワークショップ等の市民参画の機会が、更に充実していけるよう、関係課に対し各制度の周知を図るとともに、適切な運用を促す。◆まちづくり協働座談会の開催を継続し、まちづくりに関し行政と市民が双方向で意見交換できる機会を設けていく。 ◆アンケート結果や寄せられた意見・要望について検討し対応していく。 ◆更新回数が少ないものに積極的な情報発信を促す。

③ 市外に向けた市勢情報の発信

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・観光・交流、移住定住、企業誘致等の促進を図るために、胎内市の情報を積極的に発信していくとともに、新たな方策を検討します。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ◆SNSでの発信は、Facebook（13）、Instagram（8）、X（3）、YouTube（3）で行っている。令和5年度から公式LINE（1）を開始した。（）内はアカウント数[再掲] ◆胎内郷人会について、年間4回の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、2回（オール胎内郷人会、中条郷会）の開催となった。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ◆更新回数が少ないものに積極的な情報発信を促す。[再掲] ◆会員数の減少が課題となっていることから、会の存続と活性化のため、まずは現会員へ参加を促した上で、新規会員獲得に協力を依頼するとともに、会員の募集を周知していく。

5 施策の今後の方針

施策方針	◎拡充
<p>施策方針に関する説明</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆市報について <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度にリニューアルを行った。市民に分かりやすく、見やすい紙面となるよう継続して改善していく。 ◆ホームページについて <ul style="list-style-type: none"> ・「親しみやすさ」「探しやすさ」を重視し、積極的な情報発信に取り組むよう各課に促す。 ◆市外への情報発信について <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信については、SNSが有効な手段と考える。ホームページの更新に合わせ、SNSでも発信するような仕組みを作る。

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R5		R6		達成度	今後の 方向性	担当課
		事業費	うち 一般財源	当初予算額	うち 一般財源			
520110	広報広聴事業	9,264	8,461	11,494	10,738	○	②	総合政策課
520310	胎内郷人会事業	438	438	2,379	1,259	×	②	商工観光課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	520110		担当課	総合政策課		担当係	広報情報推進係		担当者	
事務事業名	広報広聴事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計			
基本政策	5	自治・協働	大	52	広報・広聴	予算科目	款	02 総務費		
主要施策	25	広報・広聴	中	01	接点の拡大と分かりやすい情報の提供		項	01 総務管理費		
			小	10	広報広聴事業		目	03 文書広報費		
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意			関連例規	関連計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民と行政の円滑な情報交換を進めるため、市民が必要とする行政情報を市報やホームページ、SNS等を通じて幅広く提供するとともに、市民の意見を聴く機会の確保に努める。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 市報発行 市勢要覧の作成 ホームページ維持管理 SNSの投稿
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	○			
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	ホームページ閲覧数・アクセス数は昨年に比べ数値が下がっている。R4年は災害があったことにより一時的なアクセスがあったものと思われる。R5年は災害等は無かったことで、アクセス数は下がっているがおおむね達成している。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

R4

- 市ホームページの閲覧数、サイト訪問数などを解析する新ツールを導入した。定期的にSNS投稿により、着実にフォロワーを増やしている。
- R5年度に市報リニューアルのための検討を行い、表紙ロゴを変更した。

R5

- 4/1号より市報をリニューアル、表紙のデザインや紙面のレイアウトを変更した。
- 10/2より公式LINEの運用を開始。利用者にイベント情報等を配信する。

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	9,299	9,264	11,494		
国・県支出金	210	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	832	803	756		
一般財源	8,257	8,461	10,738	0	0
人件費（千円）	9,537	9,537	0	0	0
正(h) ※事業費	5,092	5,092	0	0	0
※許年度 ※任(人) ※費	1,694	1,694	0	0	0
総事業費+人件費	18,836	18,801	11,494	0	0
財源「その他」内訳	広告掲載料 803千円				
事業費の主な支出内容	印刷製本費 5,818千円、通信運搬費 1,918千円				
算出方法					
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	市民からの街の情報等、投稿写真を募集している。市報たいたいをモニターに評価していただき、意見や助言を参考にし改善につなげている。

7 事業の課題

1つの記事の文章量はそれほど多くないが、全体的に見ると多くなって見にくくなるので工夫が必要。
市報編集作業に多くの時間を割いてしまい、他業務（SNS発信など）が疎かになってしまっている。多くの年代に情報を届けるためには計画的に情報発信が必要。

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産出指標	名称	①市報の発行回数 ②SNSの投稿回数	①市報の発行回数 ②SNSの投稿回数	①市報の発行回数 ②SNSの投稿回数	①市報の発行回数 ②SNSの投稿回数	
	目標	①21回 ②100回	①21回 ②100回	①21回 ②100回	①21回 ②100回	
	実績	①21回 ②144回	①21回 ②160回			
成果指標	名称	①市報モニターの評価 ②市報アンケート ③ホームページ閲覧数 ④ホームページ投稿数	①市報モニターの評価 ②市報アンケート ③ホームページ閲覧数 ④ホームページ投稿数	①市報モニターの評価 ②市報アンケート ③ホームページ閲覧数 ④ホームページ投稿数	①市報モニターの評価 ②市報アンケート ③ホームページ閲覧数 ④ホームページ投稿数	①市報モニターの評価 ②市報アンケート ③ホームページ閲覧数 ④ホームページ投稿数
	目標	①3.5 ②275枚 ③1,350千ビュー ④450千セッション	①3.5 ②275枚 ③1,350千ビュー ④450千セッション	①3.6 ②275枚 ③1,600千ビュー ④530千セッション	①3.6 ②275枚 ③1,600千ビュー ④530千セッション	
	実績	①3.9 ②171枚 ③1,710千ビュー ④625千セッション	①4.2 ②210枚 ③1,303千ビュー ④527千セッション			
	目標比	①111% ②62% ③127% ④139%	①120% ②76% ③96% ④117%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②	②			
市報発行日にはSNSでの情報発信も行う。他課の担当者にもばらつくことがないように計画的に情報発信を促す。					

9 二次評価委員所見

		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休廃止	⑦	×	×	×	
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	520310		担当課	商工観光課		担当係	商工振興係		担当者	
事務事業名	胎内郷人会事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計			
基本政策	5	自治・協働	大	52	広報・広聴	予算科目	款	07	商工費	
主要施策	25	広報・広聴	中	03	市外に向けた市勢情報の発信		項	01	商工費	
			小	10	胎内郷人会事業		目	01	商工総務費	
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意			関連法規		関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内市を故郷とする各県人会と交流を深め、胎内市の発展を考える場を設ける。
主な実施内容	各県人会・郷人会の会員と交流する場を設ける。 ・東京胎内郷会（4月） ・関西胎内郷会（5月） ・オール胎内郷人会（10月） ・中条郷会（3月）
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×	×			
評価の理由	年度内に4回の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、開催がオール胎内郷人会と中条郷会の2回であったため。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

各会において参加者の高齢化が進み参加人数が減少している。存続のためには事務局と連携した取組を進める必要がある。

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	79	438	2,379		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	0	0	1,120		
一般財源	79	438	1,259	0	0
人件費（千円）	140	281	0	0	0
正(h) ※事業費 ※任用(h) ※事業費	82	192	0	0	0
総事業費+人件費	219	719	2,379	0	0
財源「その他」内訳	会場使用料 146千円、出演謝礼 80千円				
事業費の主な支出内容					
単位コスト					
算出方法					
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	郷人会の開催に当たっては、各会の幹事と連絡・調整をしながら進めている。

7 事業の課題

高齢化などによって会員数が減少しているため、新規会員の獲得が課題である。各会の会長や幹事が中心となって活動しているものの、入会よりも脱会が多いのが現状である。

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開催数	開催数	開催数	開催数	
	目標	4回	4回	4回	4回	
	実績	1回	2回			
成果指標	名称	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	
	目標	300人	300人	300人	300人	
	実績	66人	115人			
	目標比	22%	38.3%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	⑤	②			
コロナ禍により連続して開催が中止となっていたことで状況の悪化が想定され、課題解決の糸口を見付けることも難しくなっている。まずは、各郷人会事務局と一緒に、現会員へ参加を促すとともに、新規会員獲得に努める。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	×	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					